

学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

【授業担当者】

所属/職名: 法文学部/教授

氏 名: 西村 知

授業科目名	アクティブプログラム(フィールド研究)
研修先 (大学・国・都市名)	フィリピンポリテクニク大学(フィリピン、マニラ市)、フィリピン大学農学部(フィリピン、ロスバニョス市)
研修期間	令和 5年 8月 21日 ~ 令和 5年 8月 28日
<p>【研修の目的・概要】</p> <p>研修の目的は、参加者がフィリピンの大学生と報告会を通じて交流すること、フィリピンの経済や歴史、文化を学ぶことである。学生交流は、フィリピンポリテクニク大学の学生と行った。参加者は、鹿児島大学で研究するフィリピン経済発展の特徴、鹿児島県におけるフィリピン人の地域経済への貢献などに関して英語でプレゼンを行った。フィリピン経済については、まず重層的商業システム(モール、スーパー、公設市場、サリサリストア(小規模雑貨店)を視察し、設備、価格、客層の違いについて理解させた。また、マニラ商工会議所を訪れ、所員に、日本人のビジネスマンが、フィリピンで経験する様々な問題(文化的な違いなど)とその克服の方法(異文化の理解、盆踊りなどの開催などによる交流)を行っていることを紹介していただいた。歴史については、博物館やイントラムロス(スペイン時代に作られた城壁都市)を訪問し、植民地期を中心とした歴史を学ばせた。このほかに、マニラの郊外のフィリピン大学農学部を訪れた。キャンパス長に大学の国際交流やカリキュラムに関する説明をしていただいた。また、隣接する国際稲研究も訪問し、種子の保存の重要性について学習させた。</p>	
<p>【研修の成果】 *事前・事後学習も含む。研修の目的や学習成果の達成状況について、また地域のグローバル化や活性化に資する人材育成の観点からの成果についても記載して下さい。</p> <p>この授業において様々な成果があった。まずは、事前学習である。合計で5回の授業を行った。フィリピン人の留学生にも参加していただき、英語でのプレゼンの準備を中心とした授業を行った。英語でのパワポ資料の作り方、わかりやすい英語での発音を指導した。初回とは比較できないほどの、プレゼンのレベルアップが見られた。本番では、大半の参加者が、報告原稿を見ずにプレゼンすることができた。第二の成果は、参加者の一部は、帰国後、フィリピンポリテクニク大学やフィリピン大学での農学への短期留学を真剣に考えるようになったことである。自由なキャンパスの雰囲気、フレンドリーな教員や学生との交流によって、参加者の留学への関心が高まったと考えられる。参加者の全員とは言えないが、英語でのコミュニケーションに自信を持ったものが少なからずいたことは喜ばしい。第三の成果は、フィリピンで働く日本人と会話することによって、海外で働くことに興味を持つ者が現れたことである。文化の違いを超えて働くことをマイナスに捉えるのではなくそれを楽しみとして捉えることができるということを感じた参加者が複数いたようである。参加者の一人は、フィリピンまたは他の東南アジアでのインターンを真剣に考えている。この授業がきっかけとなって、国際的に活躍するビジネスが生まれることを期待したい。第四の成果は、参加者が、現在の日本では経験することができない貧困を目の当たりにしたことである。呆然と眺めるもの、自分が何をできるか考える者と参加者によって対応はまちまちであった。それぞれの人生やキャリアの形成においてなんらかの意味があったと期待したい。事後授業では、フリートークによって、それぞれが見たこと感じたことを共有する授業を行った。11月の学園祭では、参加者の一部は、フィリピンで参加者が見たサリサリストア(小規模雑貨店)をフィリピン人の方の協力のもと再現し、バナナスウィーツやフィリピン雑貨を販売することを企画している。</p>	
<p>【今後の課題】</p> <p>今回の授業において最も苦労したことは、安価な航空券の確保である。チケットを購入した4、5月は、コロナウィルス感染が落ち着いた直後ということもあり、多くのLCCが、フィリピンと日本の路線を休止していた。普段は、旅行代理店に依頼して航空券の購入を行うが、今回は、参加者がそれぞれ、オンラインで航空券購入を行った。その結果、参加者によって航空券に差ができてしまった。海外旅行保険に関連しては、教員の業務負担が大きいと感じた。先方との予定の最終確認を行う時期に、参加者の保険に関連する作業を教員が行うのは容易ではない。保険に関しては、学生の責任のもとで作業ができるようなシステムを作っていただくとありがたい。また、申請書の書式にわかりにくい箇所がある点も指摘したい。特に「双方」の定義があいまいである。国際交流のための授業の在り方は、特定の部署が独自の観点から決めるのではなく、教員の自由差異なる発想を重視したほうが良いかと個人的には思う。</p>	